

# エコアクション21 環境経営レポート

2019年1月1日～2019年12月31日



快適な住環境を創造するトータルリフォームプランナー

## 太陽リビング株式会社

作成日 2020年1月23日

# 目 次

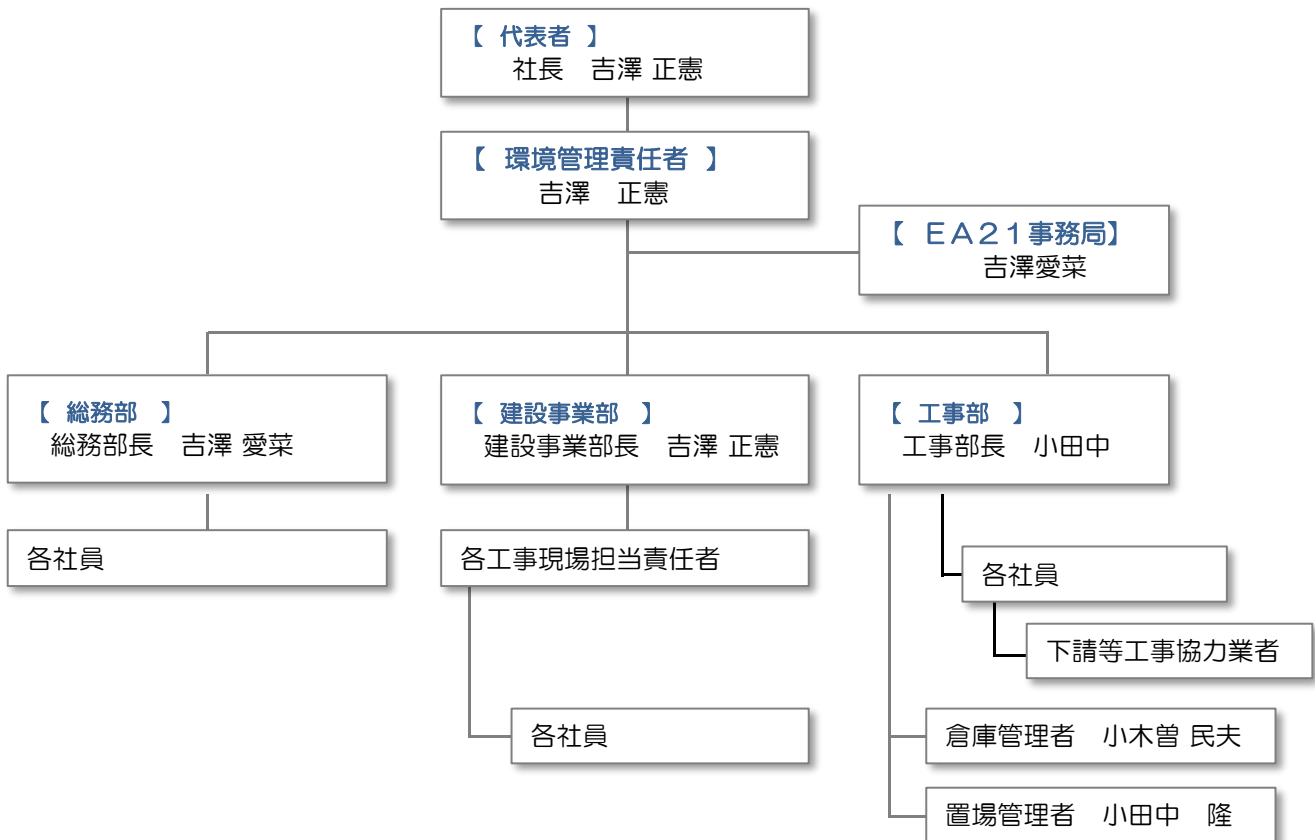
- 1.組織の概要
- 2.実施体制図(役割・責任・権限表)
- 3.環境経営方針
- 4.環境経営目標
- 5.環境経営計画
- 6.環境経営目標の実績状況と評価
- 7.環境関連法規等の遵守
- 8.代表者による全体評価と見直し・指示の結

# 1 組織の概要

■ 事業者名	太陽リビング株式会社		
■ 代表者	代表取締役 吉澤 正憲		
■ 所在地	(本社)	〒389-0515	長野県東御市常田444-27
	(倉庫)	同上	
	(資材置場1)	同上	
	(資材置場2)	〒389-0505	長野県東御市和王田1416-1
■ 環境管理責任者	吉澤 正憲		
■ 連絡先	電話：0268-64-2126 FAX：0268-64-2317 メール：info@taiyou-living.co.jp URL：http://www.taiyou-living.co.jp		
■ 事業内容	住宅機器販売・施工 その具体的内容：1)～9) 1) 水廻り住宅設備機器の販売施工 2) 住宅増改築・リフォーム工事の請負、設計、施工 3) 土木建築工事の請負、設計、施工 4) 給水・給湯・排水工事、上下水道設備工事の請負、設計、施工 5) 空調機器、燃焼機器、床暖房機器の販売施工 6) 太陽光発電システムの販売施工 7) 特定福祉用具および特定介護予防福祉用具の販売 8) 水廻り雑貨の販売 9) 前各号に付帯関連する一切の業務		
■ 事業規模	設立年月日	1981年4月8日	
	資本金	1000万円	
	総売上高	25000万円（2018年度）	
	工事件数	815件／年（2018年度）	
■ 事業組織	従業員	12名（正社員9名，パート社員3名）	
	本社延床面積	301.04	m <sup>2</sup>
	倉庫延床面積	52.81	m <sup>2</sup>
	資材置場1面積	53.7	m <sup>2</sup>
	資材置場2面積	1033	m <sup>2</sup>
■ 許可内容	一般建設業 長野県知事 許可（般-28）第13948号 有効期限 平成28年11月14日～令和3年11月13日まで （建築工事業・管工事業・水道施設工事業・大工工事業・内装仕上工事業）		
■ 事業年度	1月～12月		
■ 対象範囲	全組織全活動が認証・登録範囲です。		



## 2 環境実施体制及び役割・責任・権限表



### 【 役割・責任及び権限一覧 】

担当	内容
代表取締役 社長	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資材を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技術、技能を含む)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境方針の策定・見直し及び従業員への周知を行う。
	⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境方針及び自己チェック等に基づき環境目標を設定し、作成された環境活動計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境目標達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と、改善や見直しに必要な処置を行う。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部長及び 各工事現場担当 責任者	①責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21 事務局	①環境経営システム運営の全ての事務を行う。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文章及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運用管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順作成、テスト・訓練・記録。

## 3 環境経営方針

### 《 環境理念 》

私たちは水廻りのトータルプランナーとして、豊かで快適な住環境の創造に誠意と技術で貢献して、環境に配慮した業務・工事管理・商品提案を徹底することで地域のお客様に信頼され、愛されて発展・成長し、共に幸せになる。

### 《 行動指針 》

1. エコアクション21に基づく環境経営システムに取り組み、地域・顧客・業界の環境関連事項に配慮しつつ、環境活動の継続的改善を図る。  
環境目標及び行動計画として、下記の項目を設定し必要に応じて見直すことにより、環境方針の目標である環境に配慮した業務・工事管理・商品提案によってお客様の住環境の快適性と地球環境への貢献する。
  - ①電力・自動車燃料・その他化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - ②使用資材の省資源化、廃棄物の3R（減量、再使用、再生使用）の推進
  - ③水資源の節水
  - ④事務用品・業務使用品のグリーン購入
  - ⑤環境配慮型商品の販売施工促進による家庭における省エネルギー化の推進
  - ⑥環境配慮改修の提案業務の推進
  - ⑦施工で使用する塗料溶剤等は、有害な化学物質の低減に努めます。
  - ⑧会社周辺の地域清掃活動および地域環境活動への積極的な参加
  - ⑨全社員が環境経営方針を熟知し、環境意識の向上を図る
2. 環境経営レポートをまとめ、必要な情報開示に努めます。
3. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します

制定日：2014年10月10日

改定日：2018年10月10日

太陽リビング株式会社

代表取締役 **吉澤正憲**



快適な住環境を創造するトータルリフォームプランナー

**太陽リビング**株式会社

## 4 環境経営目標 中長期(第1期)

項目		単位	2018目標	2019目標	2020目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	37032	36658	36284
		(%)	99%	98%	97%
	電力	kwh	15,111	14,959	14806
	軽油	リットル	1678	1,661	1644
	ガソリン	リットル	9127	9,035	8936
	灯油	リットル	821	812	804
	一般廃棄物	kg	1,918	1,898	1879
産廃	混合廃棄物	kg	88,724	87,828	86931
水削減	水使用量	m <sup>3</sup>	76	76	76
		(%)	100.0%	100.0%	100.0%
環境配慮	グリーン購入	—	資材・事務用品等で、グリーン購入の推進をする。		
	化学物質	—	現在使用していない。新規資材購入時は適正に管理する。		
	環境に配慮した商品の販売	—	環境配慮型商品の販売促進広告・販売台数拡大に努める		
	社会貢献	—	会社周辺の清掃活動(2回/週)を引き続き継続する。		

中部電力(株) 2013年度二酸化炭素実排出係数 0.513kg-CO2/kwhを使用

## 5 環境経営計画

取組事項		具体的取組内容
1	・電力使用量の削減	会社全体の LED化(必要時点灯) 倉庫及びトイレ等不在部屋の消し忘れをなくす OA機器の省電力設定 エアコン温度管理(夏季28℃) 設備投資 昼間事務所内照明の消灯
	・ガソリン・軽油使用量の削減	クールビズ、ウォームビズの徹底 積載重量削減 暖気運転・アイドリングストップ ハイブリッドカーへの代替 効率的な運行ルートの確認 車両の定期点検 同現場の相乗り
2	産業廃棄物・一般廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別の徹底 ミスプリントの削減 コピー用紙の再利用(裏紙利用・集約印刷) メーカーカタログの有効利用 在庫の確認
3	水使用量の削減	漏水チェック 節水商品の活用
4	グリーン購入	事務用品のグリーン購入推進
5	環境に配慮した商品の販売	環境配慮型住宅機器の販売台数拡大 省エネ商品勉強会 展示会開催・チラシ配布での周知 ホームページ更新
6 ・ 8 ・ 9	地域環境への貢献	会社周辺の清掃ボランティアへの参加 週2回(火・金)朝の10分間清掃の実施 ポケットパーク花壇づくり 社内ミーティングの実地
7	化学物質の低減	社内・外注の使用している材料の確認



## 7 法遵守状況一覧表

法規	要求事項・規制基準	評価頻度	対応	遵守の確認
建設リサイクル法	対象建設工事の分別計画等の届け出	その都度	県又は市役所に届出	○
廃棄物処理法	適正な分別保管場所を決める マニフェストの管理 委託契約書	年1回	マニフェストの保管(5年) 産業廃棄物運搬実績報告の提出(6月まで) 適正な分別委託契約書の確認	○
道路法・道路交通法	道路使用許可の届出	その都度	警察署に届出	○
フロン排出抑制法	適切な廃棄処分 事務所空冷専用エアコン 簡易点検	その都度	・冷媒フロン類取扱技術者を有する外注先への適切な取扱いの依頼 ・社内使用の業務用エアコンは、全て簡易点検を行う *(基本的には、「目視による外観点検」)	○
消防法	危険物保管の指定数量以上の許可申請・届	年1回	消防署に届出	○
騒音規制法	特定建設作業(杭うち機、削岩機等)の実施届出	年1回	県又は市役所に届出	○
建築基準法	建築物の設計施工	その都度	県に確認申請	○
大気汚染防止法	解体・改修工事に伴う粉じん等排出作業の届け出	年1回	県又は市役所に届出	○
グリーン購入法	環境に配慮した物品等の購入の促進	年1回	積極的に進める	○
振動規制法	特定建設作業(杭うち機、ブレーカー等)の実施届出	年1回	県又は市役所に届出	○
PRTR法	有害な化学物質は使用していない。	その都度	使用の場合は適正な管理をする	○

※ 当社適用される環境関連法規の遵守状況を1月23日確認した結果、違反などはありません。

※ 現在及び、過去3年間、問題のないことを確認しました。

※ 関係機関、近隣住民からの指摘、苦情、訴訟などはありません。

チェック日 令和2年1月23日 吉澤正憲

承認日 令和2年1月23日 吉澤正憲

作成者 令和2年1月23日 吉澤愛菜



## 6 環境目標の実績

項目		単位	基準値 2015～2017年平均	2019年目標値 (1～12)	2019年実績 (1～12)	達成%	
電力	購入電力	kWh	15,264.0	99%	14,959.0	20,571.0	×
	排出量	kg-CO2	7,830.4		7,674.0	10,552.9	73%
軽油	使用量	L	1,695.0	99%	1,661.0	2186.21	×
	排出量	kg-CO2	4,383.6		4,295.7	5,640.4	76%
ガソリン	使用量	L	9,219.3	99%	9,035.0	10,790.4	×
	排出量	kg-CO2	21,404.0		20,976.2	25,033.6	84%
灯油	使用量	L	829.0	99%	812.0	144.3	○
	排出量	kg-CO2	2,065.8		2,023.0	359.3	
CO2排出量	総排出量	kg-CO2	35,683.8	99%	34,968.9	41,586.2	×
上下水道	購入水道量	m <sup>3</sup>	76.0	100%	76.0	60	○
産業廃棄物排出量		kg	89,620	99%	87,828	95,451	×
一般廃棄物排出量		kg	1,937	99%	1,917.9	1,634	○
グリーン購入			資材・事務用品等で、グリーン購入ができた。				○
化学物質			適正に管理する。新規購入時にSDSによりPRTRの確認をした。				○
環境に配慮した商品の販売			環境配慮型商品の販売台数が拡大できた。				○別紙参照
地域貢献			週2回会社周辺の清掃ができた。				○

中部電力㈱ 2013年度二酸化炭素実排出係数0.513kg-CO2/kwhを使用

# 環境経営計画の実施と評価

取組事項		具体的取組内容	実施結果	
1	・電力使用量の削減	会社全体の LED化(必要時点灯)	○	
	評価 今年度は設備投資に力をいれた。 またエアコンはどうしたら効率よく使用できるか メーカー研修の結果、湿度も大事ということが 分かり湿度にも気を付けるようにした。 暖房で灯油の使用を削減しエアコンに切替えた事と エアコンの台数が増えた為使用量は増えてしまった。	倉庫及びトイレ等不在部屋の消し忘れをなくす	○	
		OA機器の省電力設定	○	
		エアコン温度管理(夏季28℃)	○	
		設備投資	○	
		昼間事務所内照明の消灯	○	
		クールビズ、ウォームビズの徹底	○	
		・ガソリン・軽油使用量の削減	積載重量削減	○
		評価 人員不足で一日に現場を掛持ちしたりする為 同現場の相乗りが難しく効率的な運航ルートの 確認もできない事があった。	暖気運転、アイドリングストップ	○
			ハイブリッドカーへの代替	○
効率的な運行ルートの確認	△			
車両の定期点検	○			
	同現場の相乗り	×		
2	産業廃棄物一般廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別の徹底	△	
	評価 一般廃棄物に関しては削減できたが 産業廃棄物の分別が忙しいとおろそかになる事が 見受けられた。	ミスプリントの削減	○	
		コピー用紙の再利用(裏紙利用・集約印刷)	○	
		メーカーカタログの有効利用 在庫の確認	○	
3	水使用量の削減	漏水チェック	○	
	評価 社員全員が節水を心がけることができた。	節水商品の利用	○	
4	グリーン購入(アスクール)	事務用品のグリーン購入推進	○	
	評価 同じ様な商品でグリーン商品を探す事ができた。			
5	環境に配慮した商品の販売	環境配慮型住宅機器の販売台数拡大	○	
	評価 勉強会やメーカー視察で省エネ商品の知識をつけ 販売に活かすことができた。HPでの周知まで 手がまわらなかった。	省エネ商品勉強会	○	
		展示会開催・チラシ配布での周知 ホームページ更新	△	
6 ・ 8 ・ 9	地域環境への貢献	会社周辺の清掃ボランティアへの参加	○	
	評価 例年通りできた。 何か新しい事も考えたい。	週2回(火・金)朝の10分間清掃の実施	○	
		ポケットパーク花壇づくり	○	
		社内ミーティングの実地	○	
7	化学物質の低減	社内・外注の使用している材料の確認	△	
	評価 外注の材料把握徹底までではできなかった。			

## 6-2 環境目標の実績

### 別紙:環境に配慮した商品の販売実績表

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
<b>エコ燃焼機器</b>				
エコジョーズ	7	17	20	26
エコフィール				
エコキュート				
<b>節水トイレ</b>	30	52	59	59
TOTO/LIXIL/タカラ				
<b>高断熱浴槽システムバス</b>	26	21	20	36
TOTO/LIXIL/タカラ他				
合計台数	63	90	99	121

	平成30年度	平成31・令和1年度		
<b>エコ燃焼機器</b>				
エコジョーズ	16	8		
エコフィール				
エコキュート				
<b>節水トイレ</b>	72	79		
TOTO/LIXIL/タカラ				
<b>高断熱浴槽システムバス</b>	33	26		
TOTO/LIXIL/タカラ他				
合計台数	121	113		



快適な住環境を創造するトータルリフォームプランナー

**太陽リビング**株式会社

## 環境活動の紹介

各メーカー研修に積極的に参加し知識を深めエコ商品販売に活かす努力をしています。  
また各メーカーのコンテストにも販売数を伸ばし入賞しています。



## 会社周辺の清掃活動

毎週、火曜日・金曜日に実施。



地域ボランティア  
ゴミひろいに参加



快適な住環境を創造するトータルリフォームプランナー

太陽リビング株式会社

## 9 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

今回のエコアクションではまず自社のSWOT分析からはじめております。

その後クロス分析を行い、自社の強み弱みを社員にも考えてもらいました。

また代表者として経営理念に込められている想いも考えてみました。

分析することで社員からも様々な意見が出ておりその中でEA21に関する事柄も

出てきております。EA21においての意識も高まってきてきていると実感しました。

しかしながら人手不足の為、廃棄物の分別がおろそかになってしまう事や

効率の良いルートを考えながらの運転ができなかつたりすることもありました。

次期は廃棄物の分別の徹底と燃料の削減、

自社ホームページの充実により新規顧客を増やし省エネ商品を提案、販売し

家庭消費エネルギーを抑え地球環境にも貢献することを指示します。

2020年1月23日

太陽リビング株式会社

代表取締役 吉澤正憲



快適な住環境を創造するトータルリフォームプランナー

太陽リビング株式会社